文化庁
AGENCY FOR CULTURAL AFFAIRS

資料3－1

大学を活用した文化芸術推進事業

（新規）
平成25年度予定額　450百万円

目的

我が国の文化芸術の一層の振興を図るため、芸術系大学等の有する教員、教育研究機能、施設・資料等の資源の積極的な活用を図る。

事業内容

①アート・マネジメント人材の育成
多様な文化芸術活動を支援する高度な専門性を有したアートマネジメント（文化芸術経営）人材について実践的能力の向上等を含めた養成を推進するため、芸術系大学等による公演・展示等の企画・開催も含めた実践的なカリキュラムを開発・実施を支援するとともに、開発されたカリキュラムを広く他大学等に周知・普及させる。

②大学の文化芸術に関する魅力発信
大学が文化芸術に関して有する人材、施設、設備、資料等の様々な資源に関するデータベースを作成・公開するとともに、大学の文化に関する魅力を広く発信するシンポジウムを開催する。

実演芸術団体、劇場・音楽堂等 ⇔ 連携

芸術系大学

〈アートマネジメント人材の養成〉

○実践的な実習の実施

・劇場等と連携した実践的講義、講座の提供
・実演芸術の公演・美術展示の企画、制作　等

○幅広く体系的な知識等の教育
・芸術文化環境
・組織の経営、舞台芸術の企画制作
・教育、人材開発等に関する知識・経験　等

他大学等へのカリキュラムの周知・普及

〈大学の文化芸術に関する魅力発信〉

○データベースの作成

・大学が文化芸術に関して有する様々な資源（教員等の専門人材、ホール等の施設・劇場、博物館・美術館等で収蔵する資料等）

○シンポジウムの開催

・アートマネジメント人材育成事業の成果等の発表

大学の魅力を広く発信